

平成28年3月期 決算説明会

英知をつなげる エレクトロニクス株式会社

平成28年5月10日

ヒロセ電機株式会社

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

H27年度のビジネス概況

〔 H27年度第1四半期(4月～6月) 〕

◎スマートフォンは中国市場向けは比較的堅調なるも、韓国市場向けが低調。自動車向けは、海外市場向けが安定して推移した。

〔 H27年度第2四半期(7月～9月) 〕

◎スマートフォンは韓国市場向けは回復基調だったものの、中国スマートフォン市場向けは調整等により前期比で微減。産機市場向けは調整局面、自動車市場向けは堅調に推移。

〔 H27年度第3四半期(10月～12月) 〕

◎スマートフォン市場向けおよび産機市場向けは調整が続く。自動車市場向けは引き続き堅調に推移した。

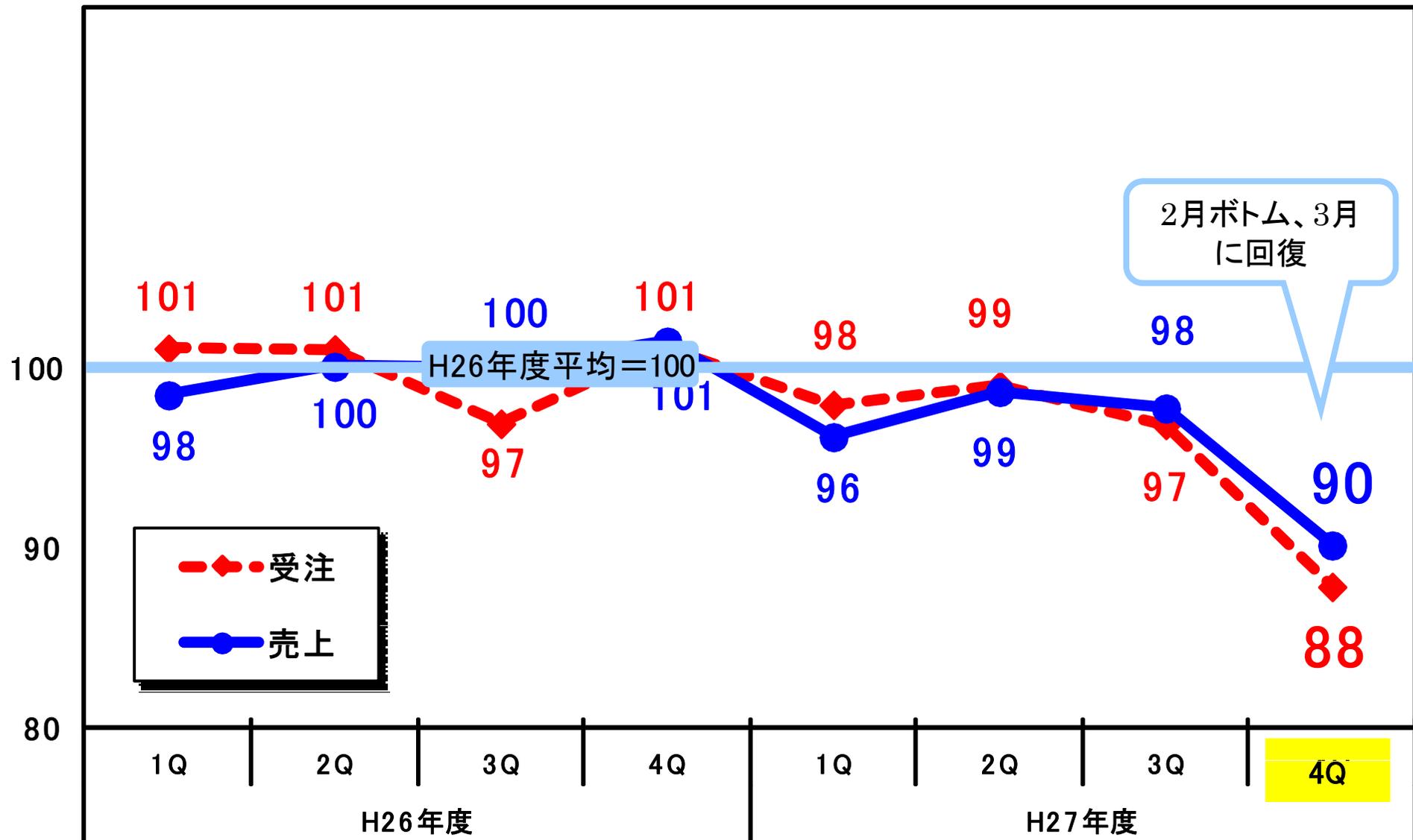
〔H27年度第4四半期(1月～3月)〕

◎スマートフォン市場向けは中国等の減少が続いた。産機市場向けは調整局面が続いたが、3月に一部で復調が見られた。自動車市場向けは引き続き堅調に推移した。

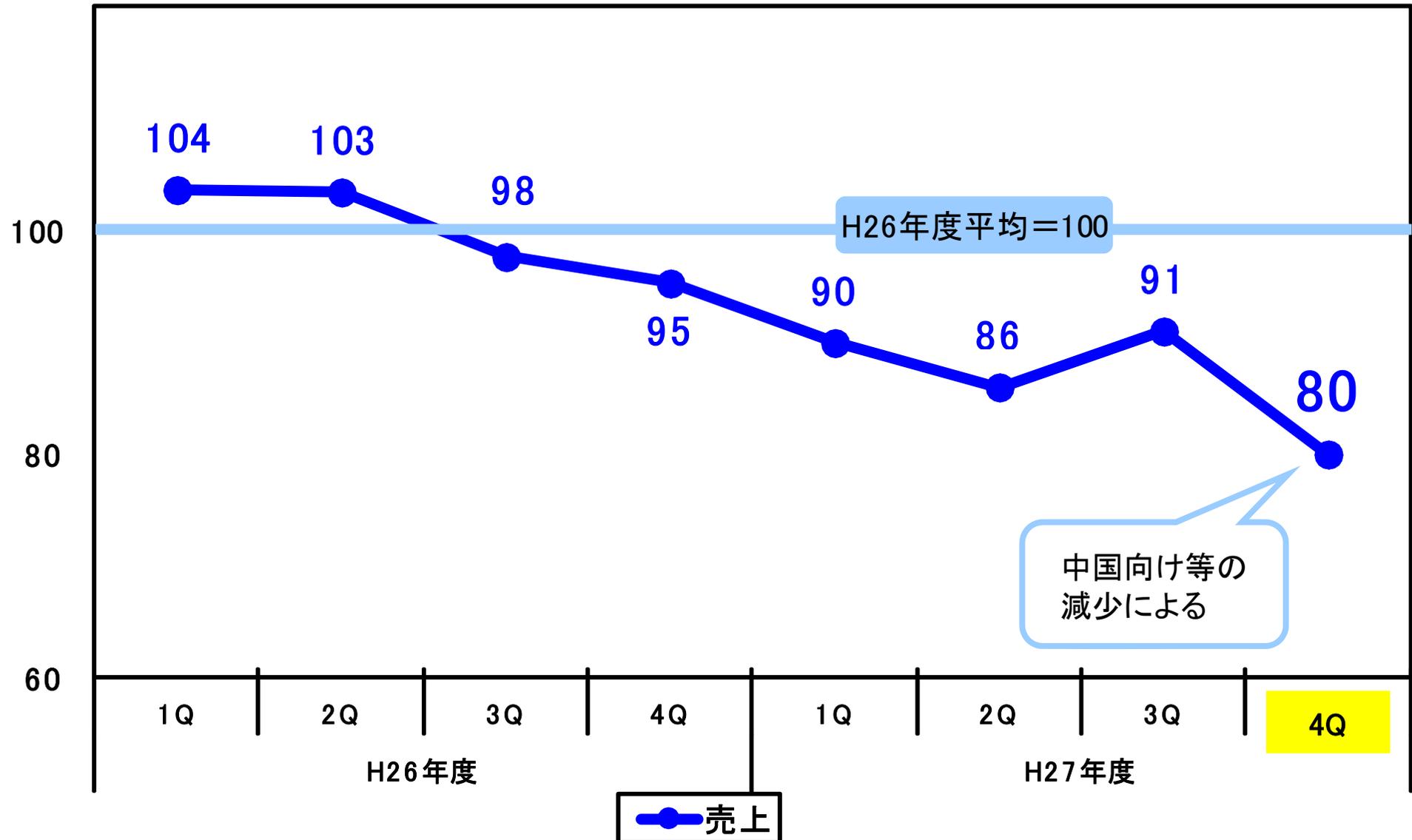
〔H27年度累計(4月～3月)〕

◎H27年度累計受注 1,202.8億円（対前年同期比 -4.4%）、売上 1,202.8億円（対前年同期比 -4.3%）、経常利益 305.2億円（利益率 25.4%、対前年同期比 -12.7%）。

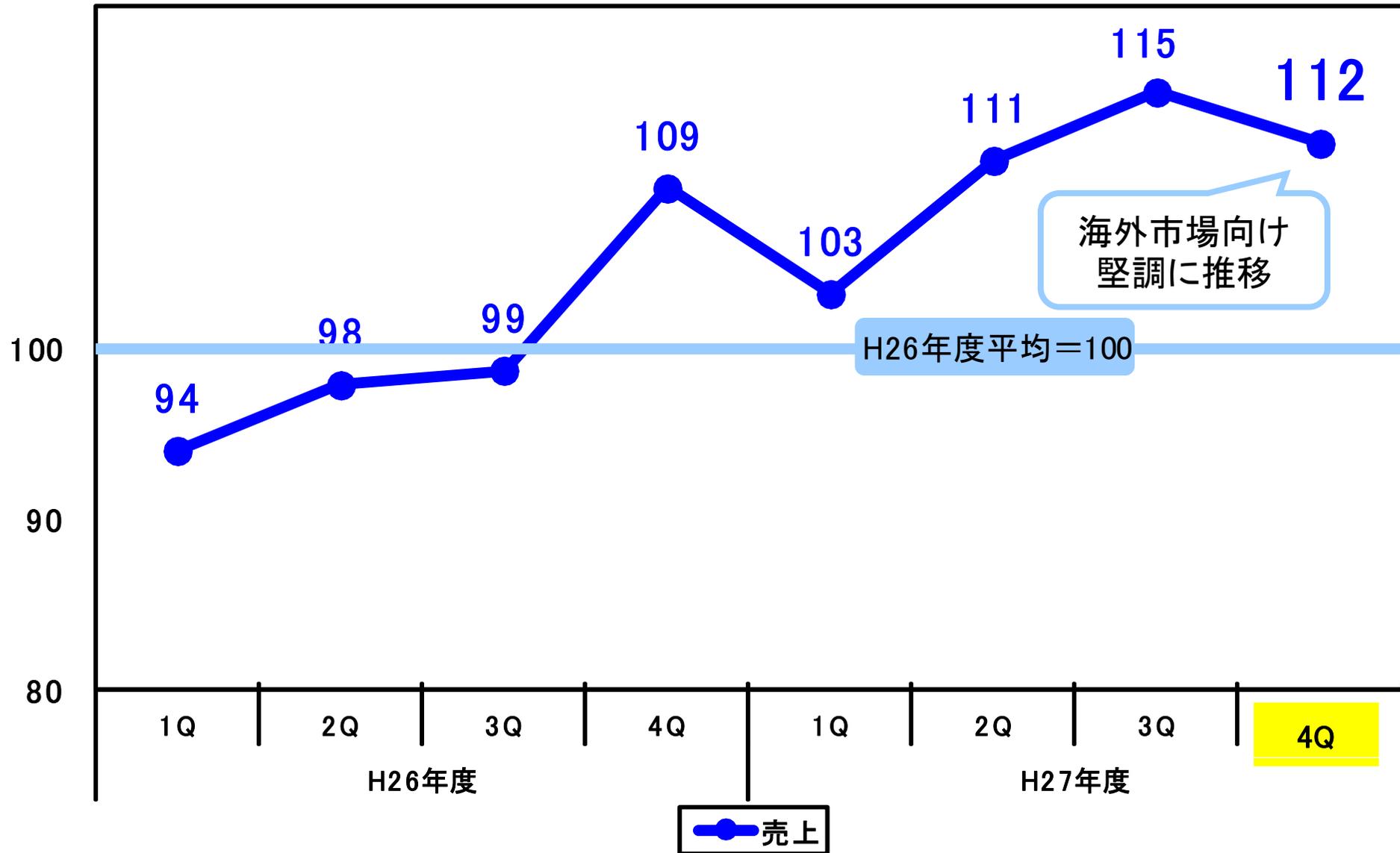
全体



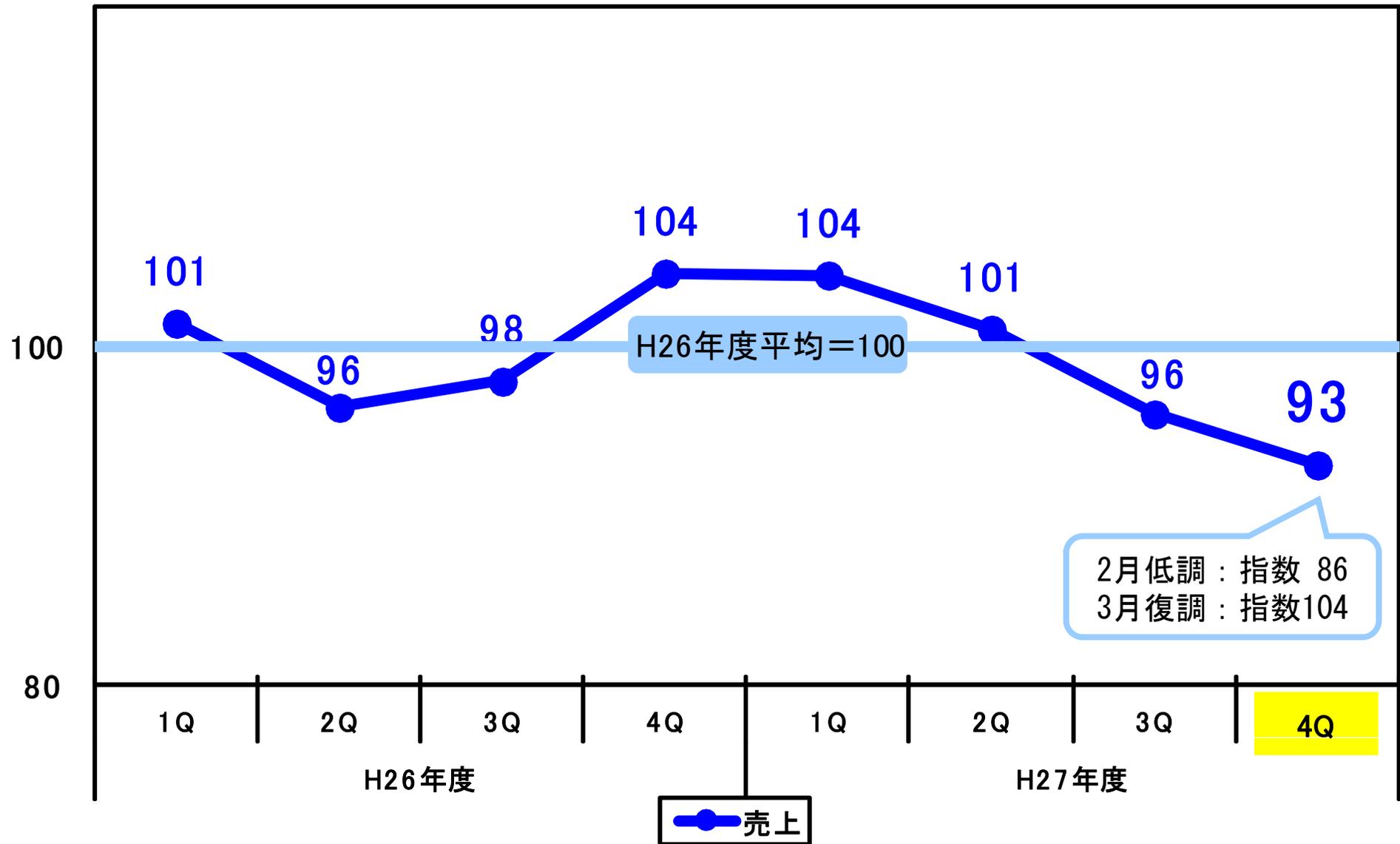
スマートフォン・携帯電話



自動車



一般産機(電子応用、FA制御、その他)



H27年度 連結決算概要

注) 緑色斜体数値...H28/1公表数値

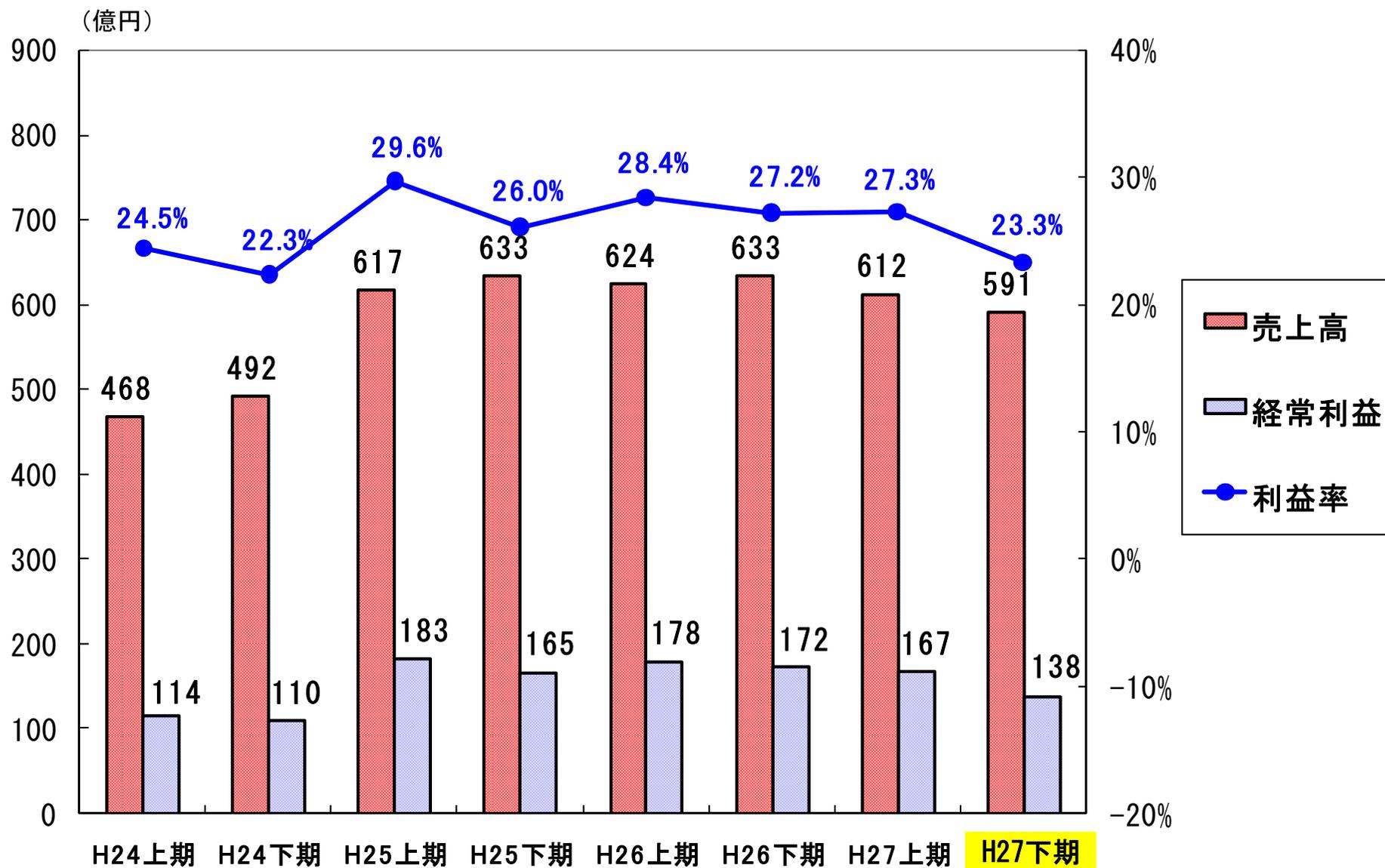
(金額単位: 億円)

	(A)H26年度 (H27/3月期)	(B)H27年度 (H28/3月期)	(B)-(A)	(B)/(A)
売上高 (売上原価率) (販売・管理費比率)	1,257.3 (55.0%) (19.1%)	1,202.8 (54.7%) (21.3%)	-54.4 (-0.3%) (+2.2%)	-4.3%
営業利益 (%)	325.9 25.9%	287.9 23.9%	-37.9 (-2.0%)	-11.6%
経常利益 (%)	349.6 27.8%	305.2 25.4%	-44.4 (-2.4%)	-12.7%
当期利益 (%)	229.5 18.3%	211.0 17.5%	-18.4 (-0.8%)	-8.0%
総資産残高	3,196.7	3,165.9	-30.7	-1.0%
自己資本比率	90.1%	90.2%		
一株当り当期利益	674.25円	596.31円		
一株当り配当	230円	240円		
連結配当性向	34.2%	40.2%		

対前年同期主要増減	
[売上高]	54.4億円減
比叻単体	子会社
-8.5億円	-45.9億円
[売上原価率]	0.3ポイント良化
仕入原価率	39.4% → 38.1%
減価償却費率	6.7% → 7.0%
労務費率	5.0% → 5.6%
[販売・管理費比率]	2.2ポイント悪化
人件費他増	
[営業外損益]	
為替差損益	+9.1億円 → +2.3億円

【為替レート】	H26年度実績	H27年度実績
1US\$	109.93円	120.14円
1€	138.77円	132.58円
100ウォン	10.37円	10.42円

半期別 売上高・利益 推移



連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	(A) H27/3末	(B) H28/3末	(B) - (A)	備考
資	現金及び預金	1,477.6	1,647.5	169.9	国債償還等に伴う増
	受取手形及び 売掛金	305.6	273.4	-32.2	売上高減に伴う減少
	有価証券	260.2	272.1	11.9	
	棚卸資産	91.4	81.5	-9.9	
産	固定資産	376.9	380.4	3.5	機械装置・金型等増
	投資有価証券	583.9	358.7	-225.2	現預金へ振替等
	その他	101.1	152.3	51.2	
	合計	3,196.7	3,165.9	-30.8	

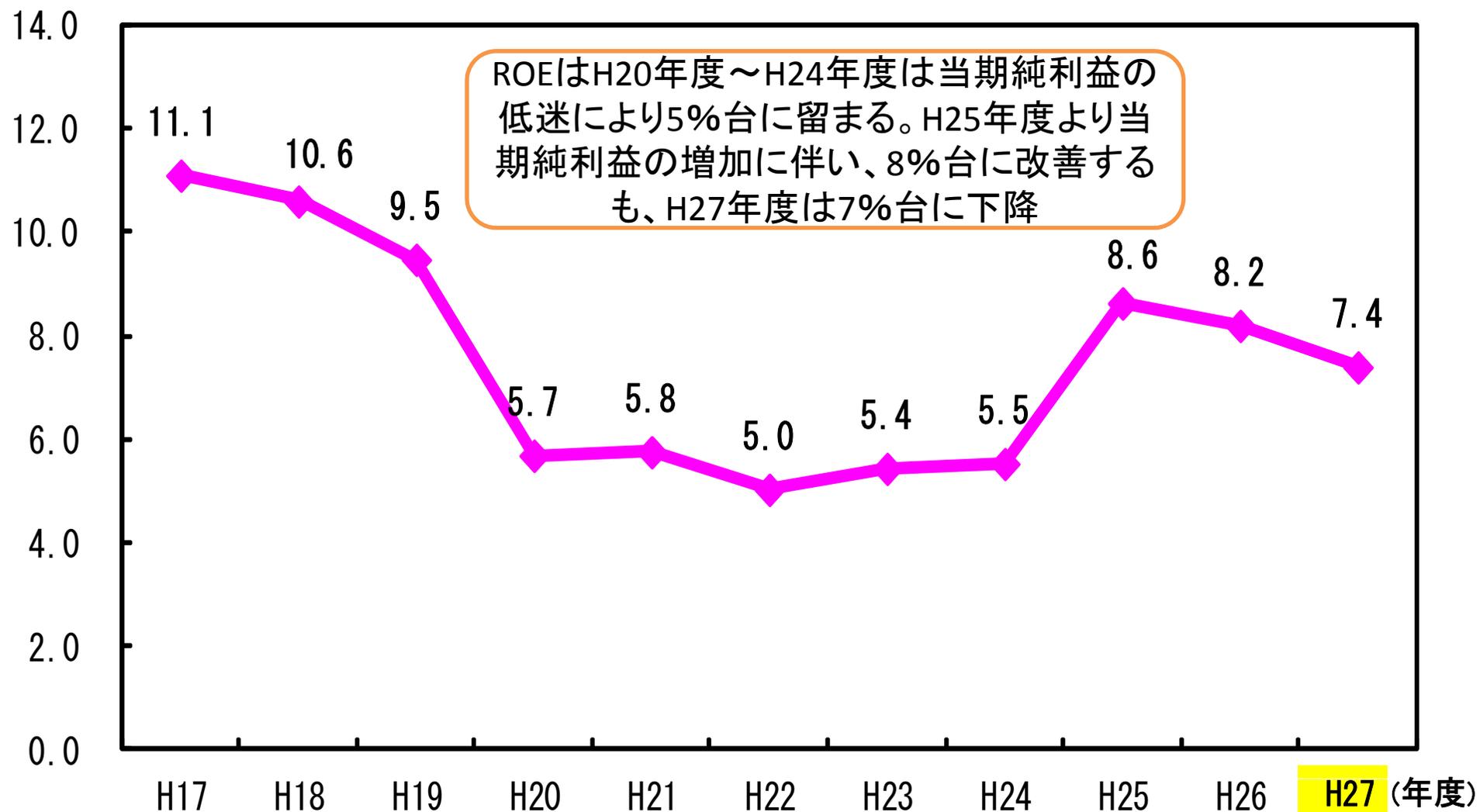
連結貸借対照表主要増減

(億円)

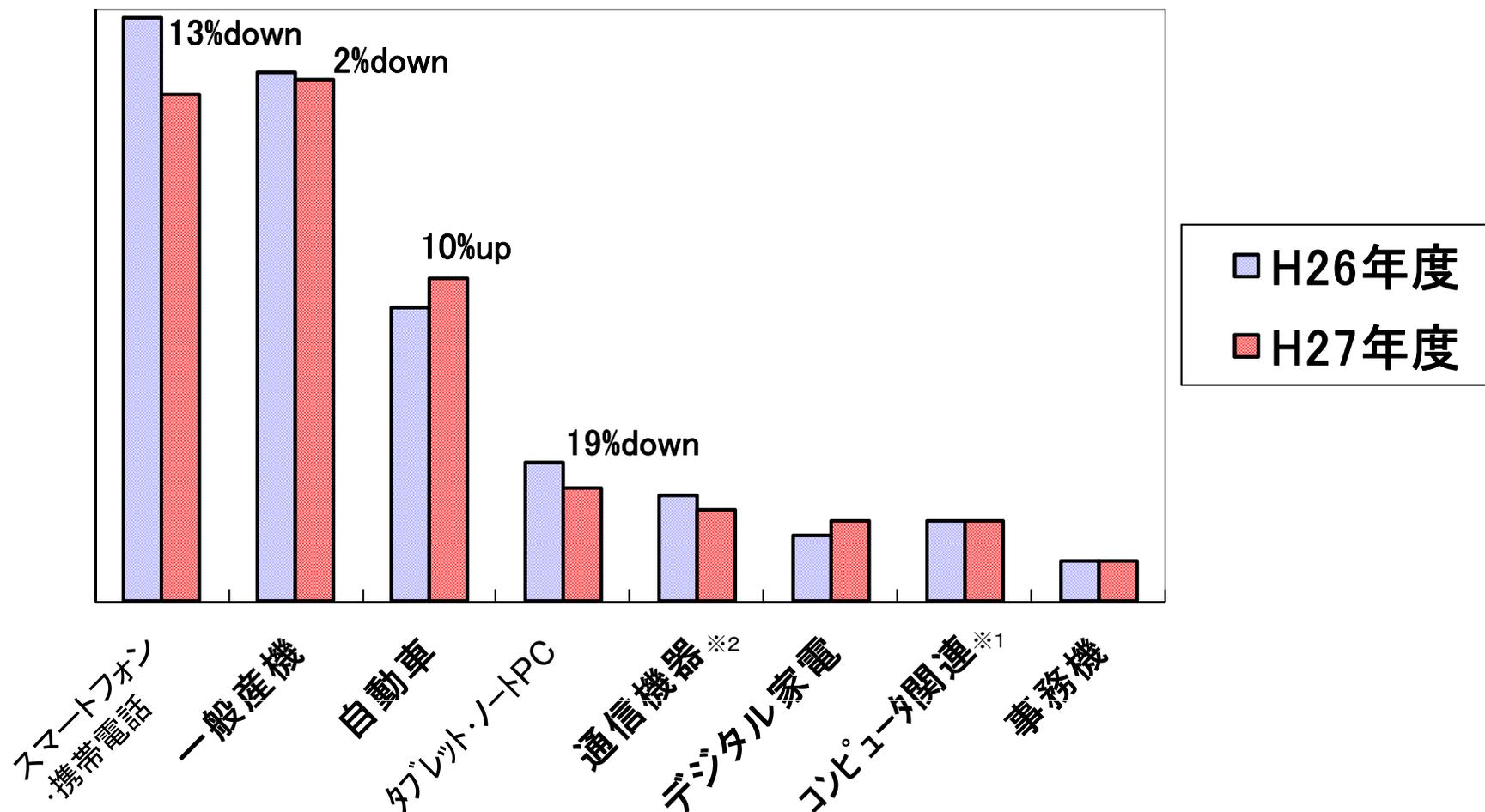
区分	科目	(A) H27/3末	(B) H28/3末	(B) - (A)	備考
負 債	支払手形及び買掛金	115.1	112.4	-2.7	
	未払法人税	53.2	38.8	-14.4	納税による
	その他	145.4	156.4	11.0	未払金増他
		313.7	307.6	-6.1	
純 資 産	利益剰余金	3,110.4	3,085.3	-25.1	当期純利益211.0億円-配当81.7億円-自己株無償割当154.4億円
	自己株式	-646.2	-564.5	81.7	自己株無償割当179.4億円-自社株買い95.9億円
	その他有価証券	69.8	73.4	3.6	
	評価差額金				
	為替換算調整勘定	119.2	56.9	-62.3	円高影響による
	その他	229.8	207.2	-22.6	資本剰余金減(自己株処分差益)
	合計	2,883.0	2,858.3	-24.7	
負債及び純資産合計		3,196.7	3,165.9	-30.7	

ROE(自己資本利益率)の推移

ROE = 当期純利益 / 自己資本(前期末・当期末の平均)



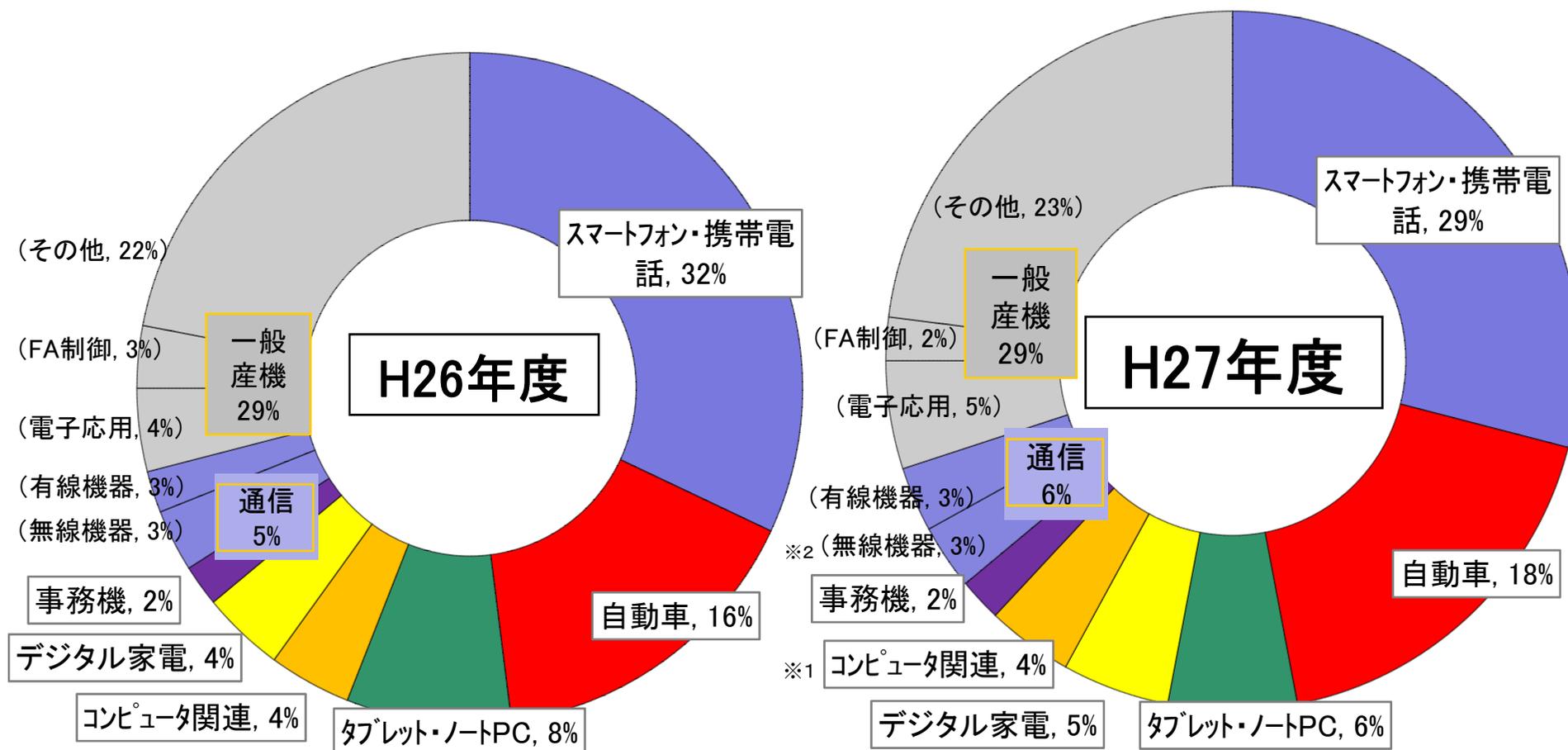
コネクタ用途別売上 前年比較（概数）〔連結ベース〕



用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性あることをご承知願います。

※1 コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器
 ※2 通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器

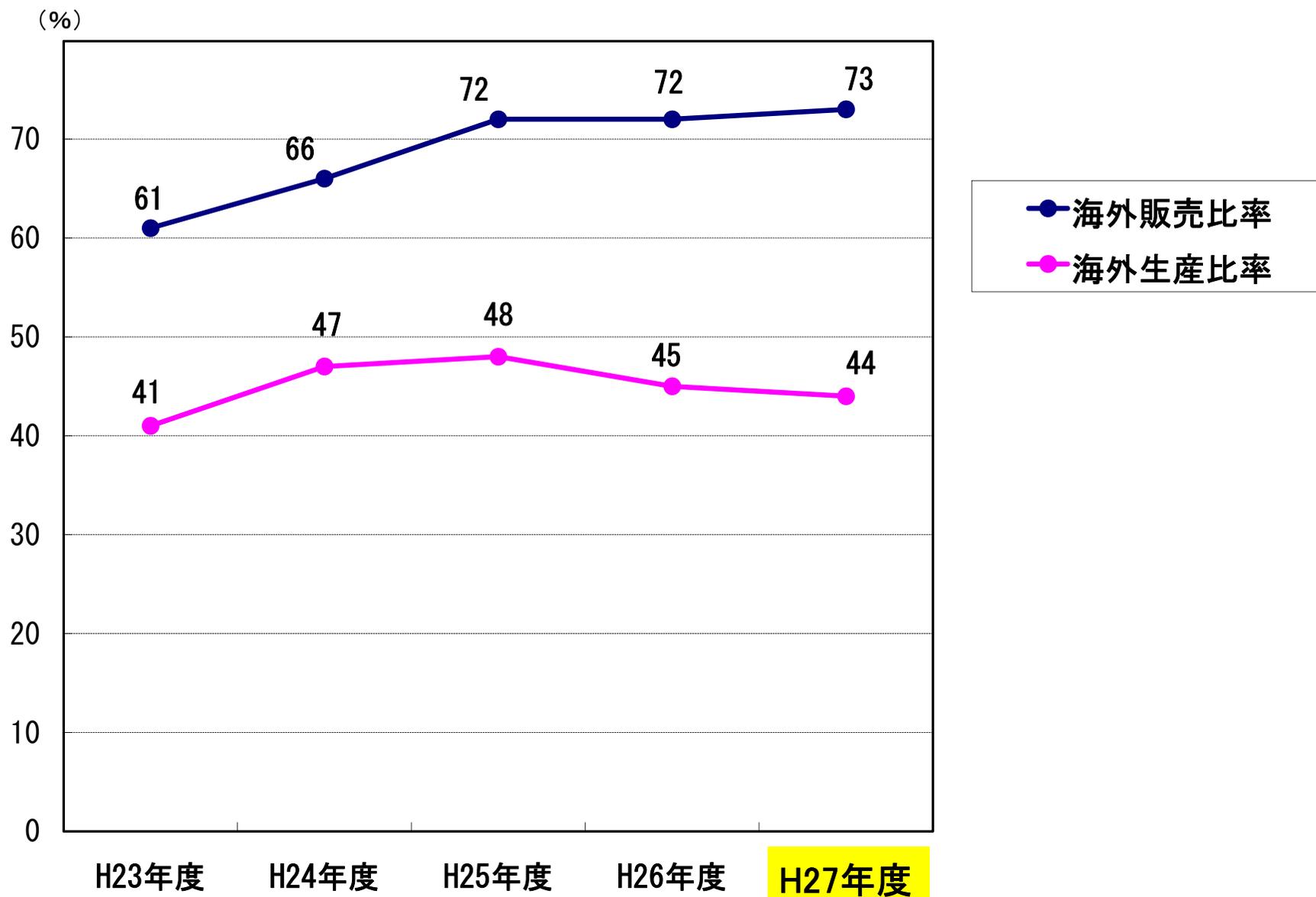
コネクタ用途別売上構成比(概数)〔連結ベース〕



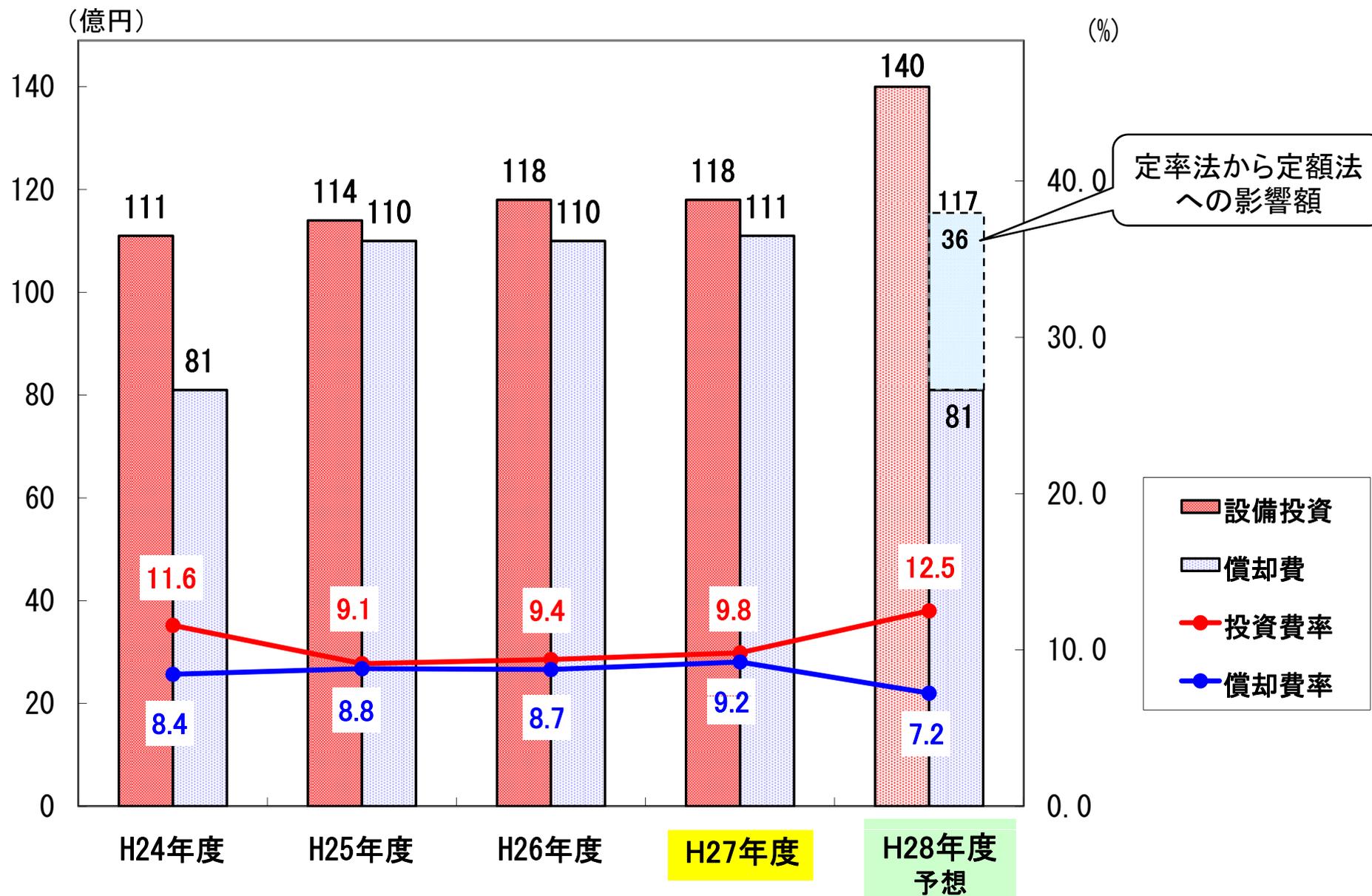
〔用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性あることをご承知願います。〕

※1 コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器
 ※2 無線機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く無線通信機器

海外生産比率・海外販売比率 推移



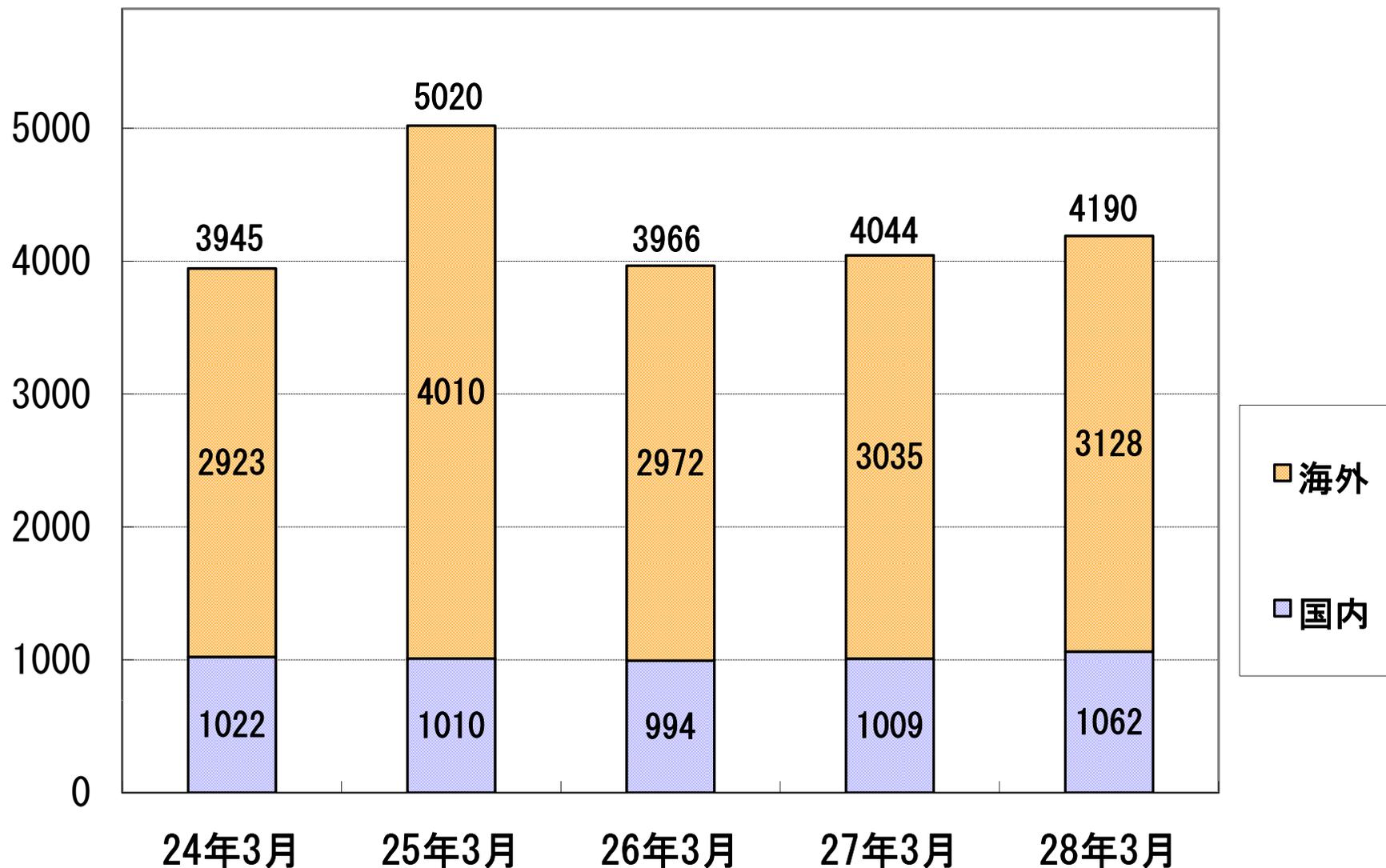
設備投資・償却費 推移（連結ベース）



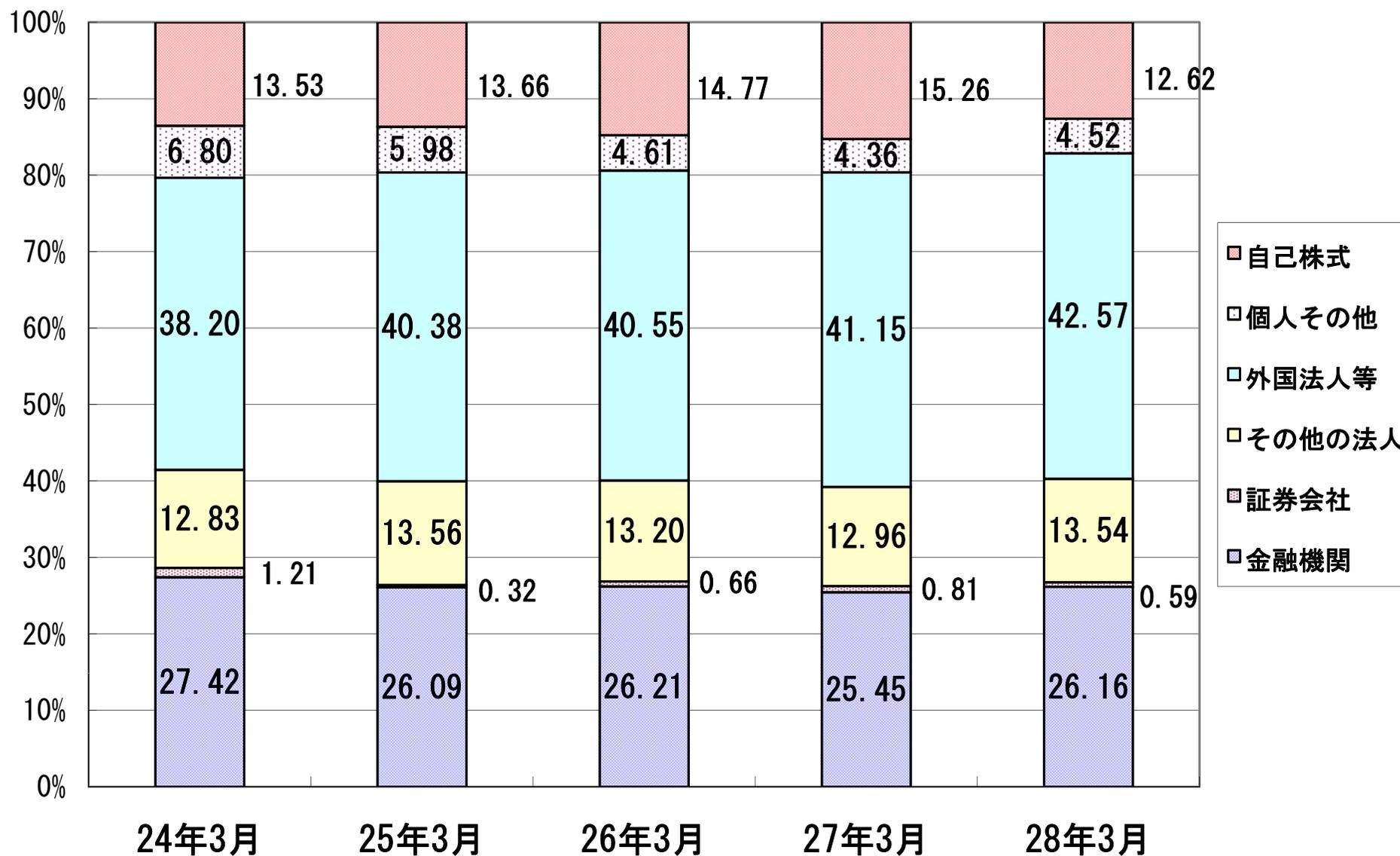
(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

従業員数 推移 (有報ベース)

(人)



株主分布 推移



H29年3月期 業績予想(連結)

(金額単位：億円)

	H27年度 (H28/3月期) 実績		H28年度 (H29/3月期) 予想		第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績													
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	増減額	増減率	増減額	増減率												
売上高 (売上原価率)	612.3 (53.9%)	1,202.8 (54.7%)	560.0 (53.3%)	1,120.0 (53.7%)	-52.3	-8.5%	-82.8	-6.9%												
営業利益 (%)	152.6 24.9%	287.9 23.9%	140.0 25.0%	270.0 24.1%	-12.6	-8.4%	-17.9	-6.2%												
経常利益 (%)	167.4 27.3%	305.2 25.4%	140.0 25.0%	280.0 25.0%	-27.4	-16.4%	-25.2	-8.3%												
当期利益 (%)	116.9 19.1%	211.0 17.5%	100.0 17.9%	195.0 17.4%	-16.9	-14.5%	-16.0	-7.6%												
一株当り当期利益	-	596.31円	-	557.62円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【為替レート】</th> <th>H27年度実績</th> <th>H28年度予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1US\$</td> <td>120.14円</td> <td>108.0円</td> </tr> <tr> <td>1€</td> <td>132.58円</td> <td>120.00円</td> </tr> <tr> <td>100¥</td> <td>10.42円</td> <td>9.30円</td> </tr> </tbody> </table>				【為替レート】	H27年度実績	H28年度予想	1US\$	120.14円	108.0円	1€	132.58円	120.00円	100¥	10.42円	9.30円
【為替レート】	H27年度実績	H28年度予想																		
1US\$	120.14円	108.0円																		
1€	132.58円	120.00円																		
100¥	10.42円	9.30円																		
一株当り配当	120円	240円	120円	240円																
連結配当性向	-	40.2%	-	43.0%																

対象： 当社及び一部の連結子会社

<p>1. 有形固定資産の減価償却方法：</p>	<p>〔従来〕 → 〔2016年度～〕 定率法 → 定額法</p>
<p>2. 見直し理由</p>	<p>設備の汎用化率の高まりを契機に資産の使用実態をより反映した原価配分を行い、更なる収支対応を図る為</p>
<p>3. 耐用年数：</p>	<p>2016年度より、自動車市場及び産機市場で主に使用されるコネクタ用の金型の耐用年数のみ2年→4年に見直し</p>
<p>4. 当該変更による影響額</p>	<p>2016年度公表値の営業利益及び経常利益における損益影響額(利益増)は約36億円</p>

1. 取締役

役名・職名	氏名
代表取締役社長	石井 和徳
常務取締役 技術本部長 兼 製作本部管掌	中村 充男
常務取締役 営業本部長	近藤 真
取締役 製作本部長 兼 品質管理部管掌	桐谷 幸雄（新任）
取締役 管理本部長	飯塚 和幸
取締役 技術本部 副本部長	岡野 広明
社外取締役	堀田 健介

※中村達朗取締役は退任(辞任)、最高顧問として留任の予定。

2. 監査役

役名・職名	氏名
常勤監査役	千葉 良一
社外監査役	杉島 光一（再任）
社外監査役	瀬下 明（再任）
社外監査役	三浦 健太郎

中期成長戦略の方向性について

2016, May 10th

ヒロセ電機株式会社

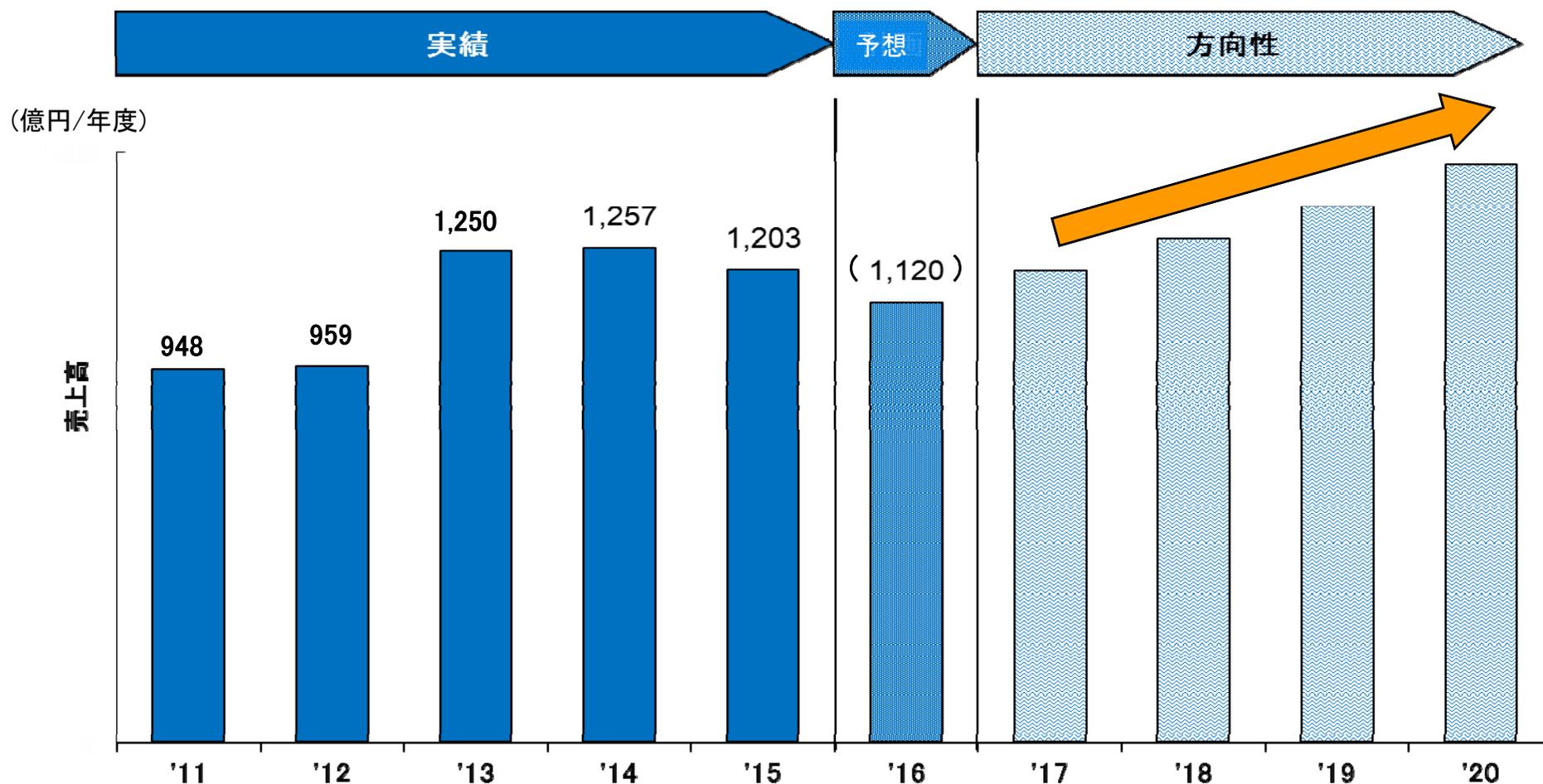
社長 石井 和徳

注意事項

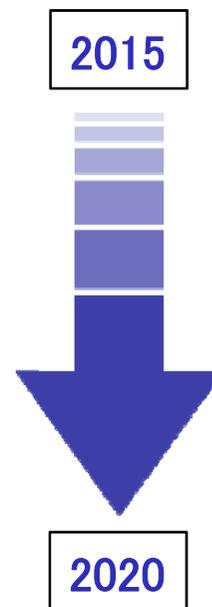
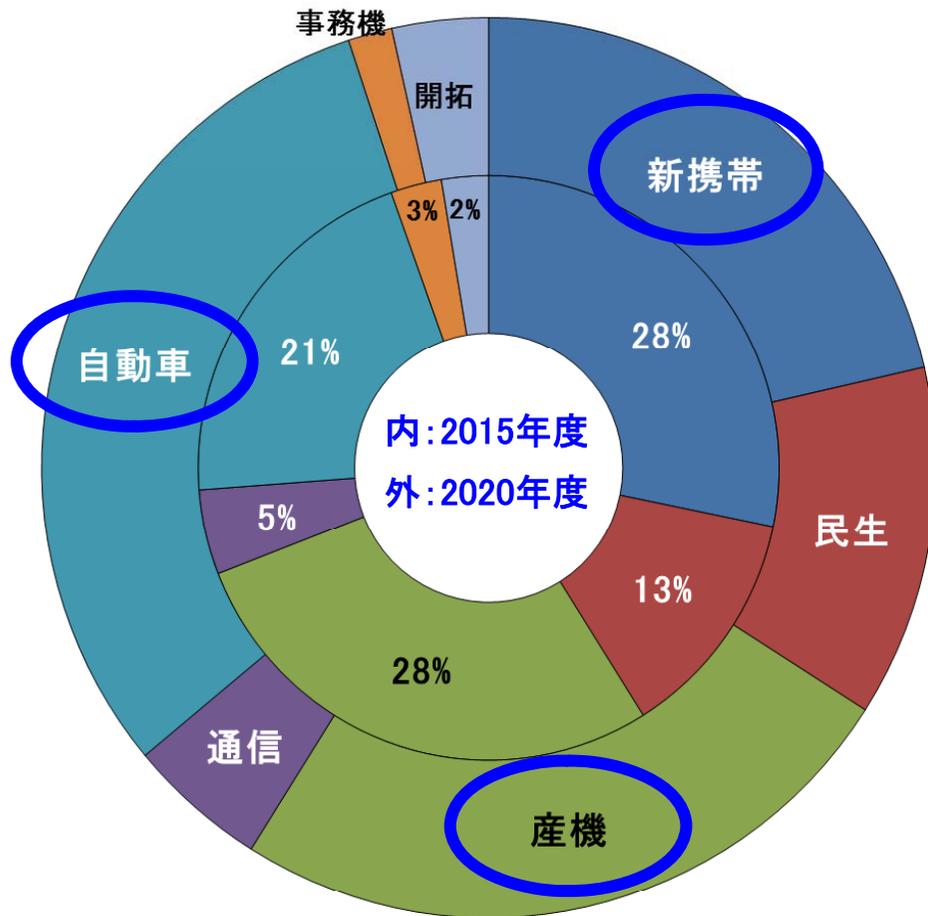
本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

高収益経営を維持し中期的に売上成長



--- → 2016年マイナス成長予想をボトムに価値ある継続成長へ



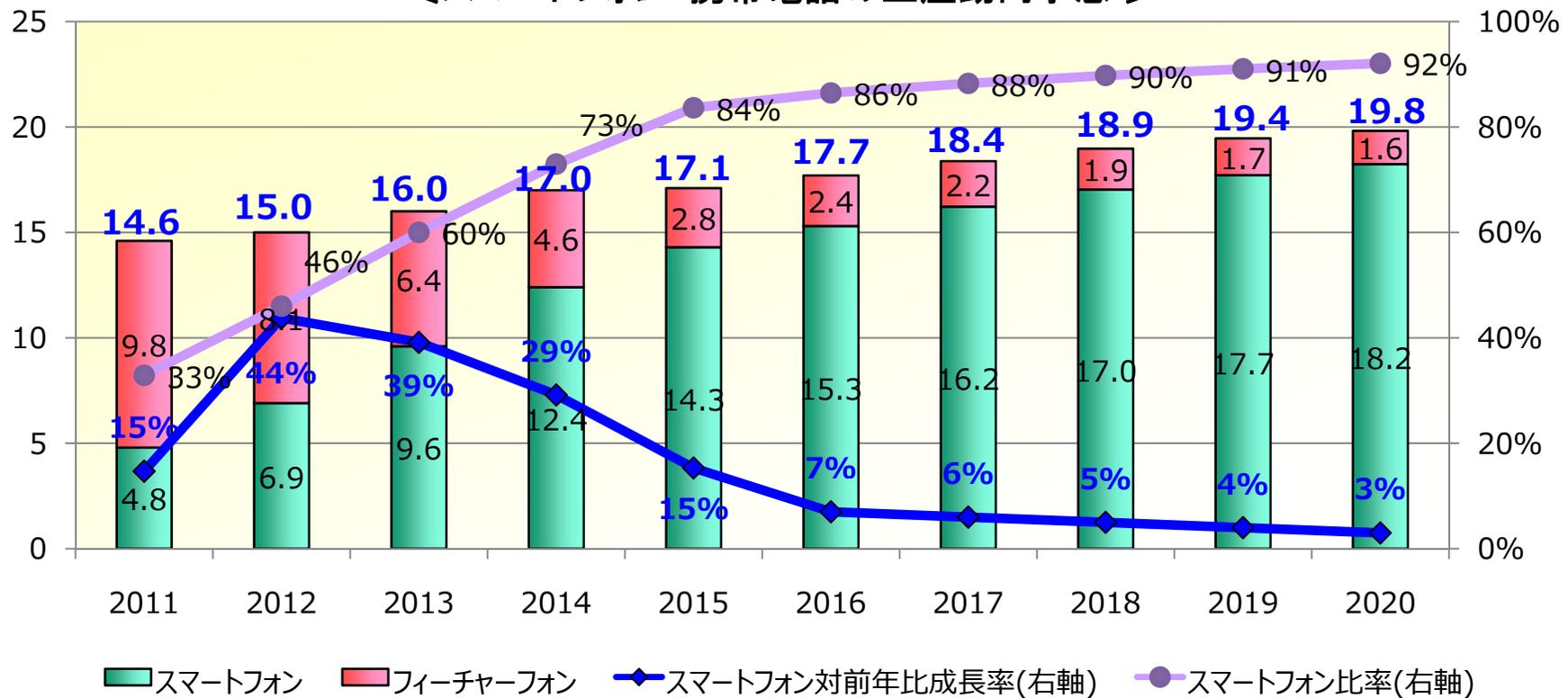
- スマホの成長鈍化と新情報端末の拡充 (→Page 5,6で補足)
- 次なる柱への仕掛けを加速中
- 「スマホ・コンシューマ」と「自動車/産機・インフラ」の両輪での成長計画 (→Page 7,8で補足)

--- → 中期マネジメントの加速で継続成長

■2ケタ成長を続けてきたスマートフォンは2016年以降一ケタ成長に鈍化するも、数千万台/年の増加が引続き見込まれる。

単位:億台/年

〔スマートフォン・携帯電話の生産動向予想〕



出所:HRS推定

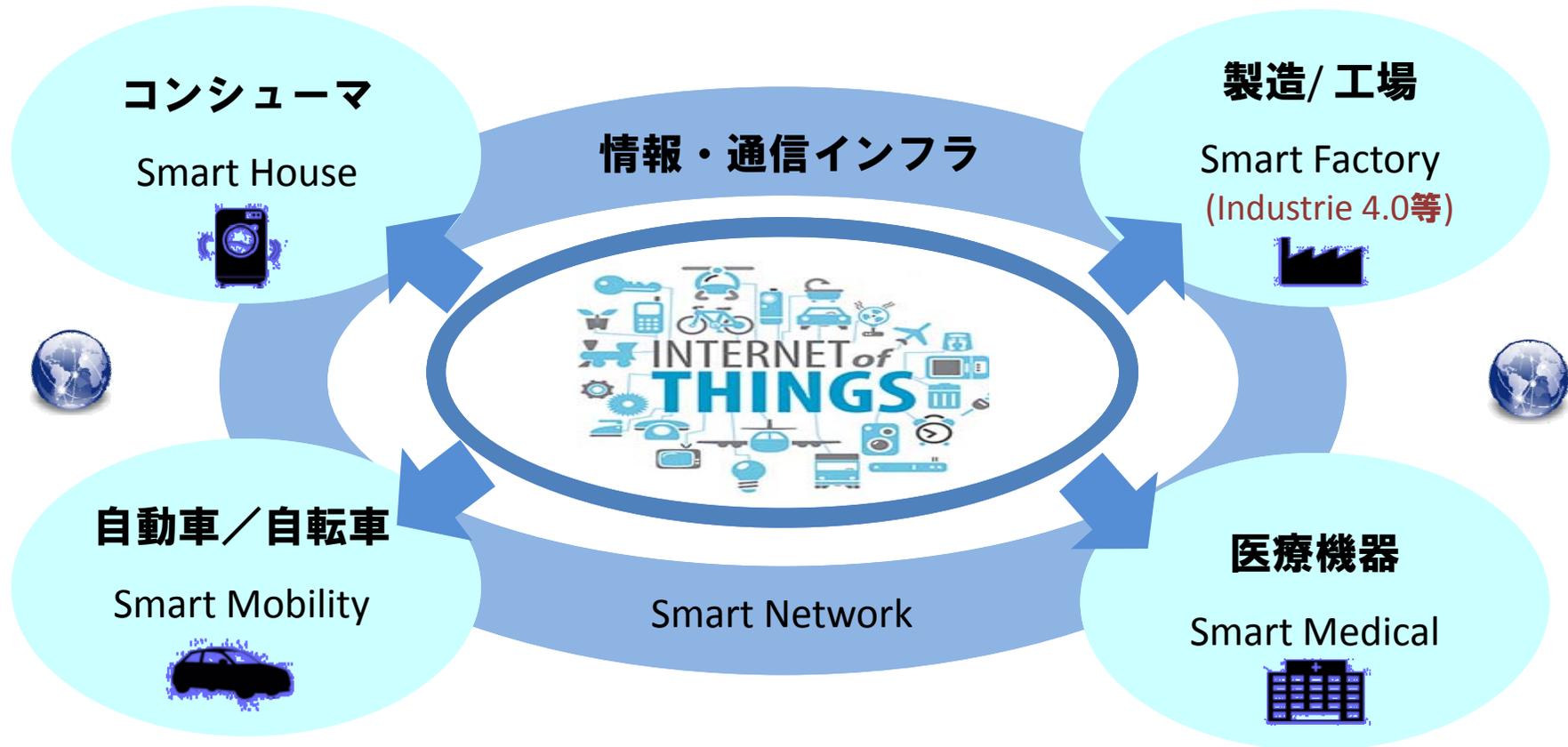
---> スマホ市場は緩やかな継続成長

■ スマホ、タブレット等のホスト端末を中心に、ウェアラブル端末各種や、IoTモジュールによって通信機能を持った様々なモノ＝端末がネットにつながる、本格的なクラウドロニクス社会が到来



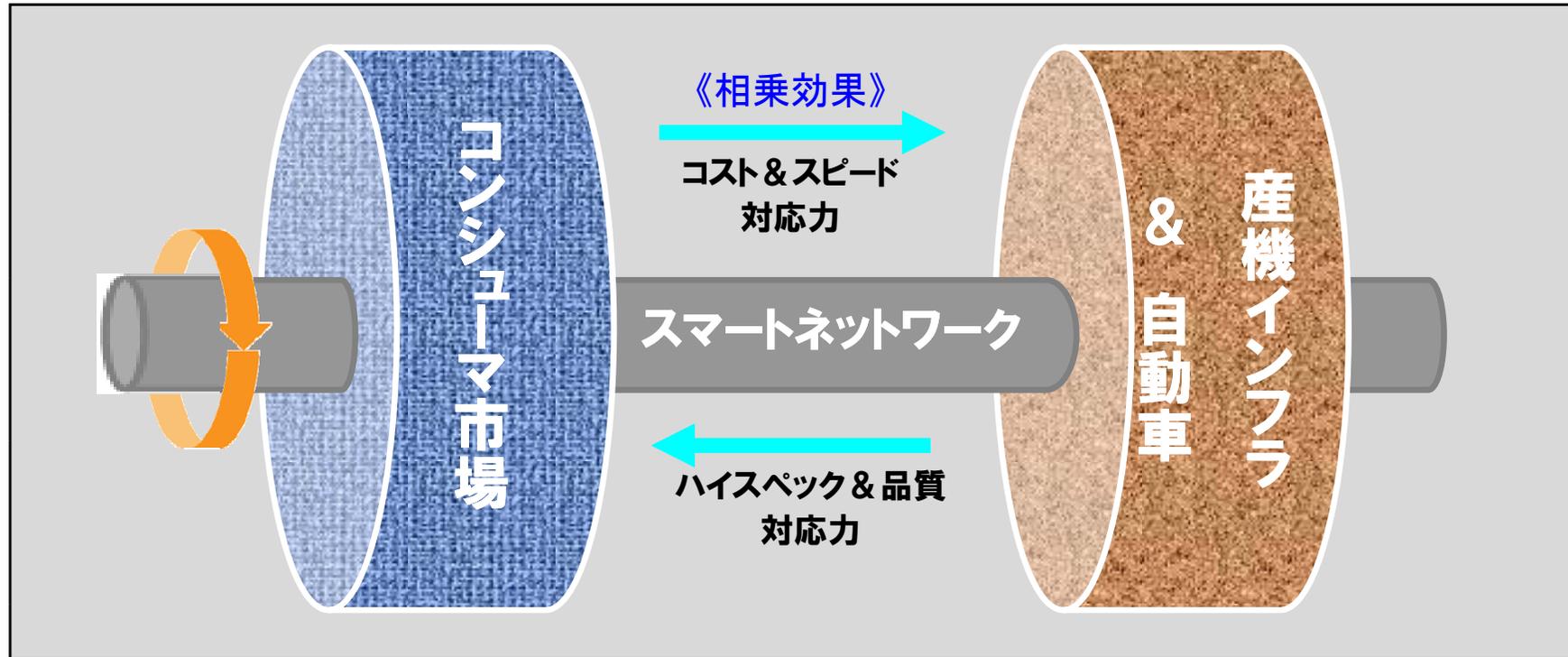
→ ネットに繋がる情報端末はますます多様化し、コネクタへの要求は更に小型・省スペース化へ
(スマホ市場用製品の用途拡大)

■ IoT を応用した新しい製品、サービス、システムは、様々な分野へ波及していく

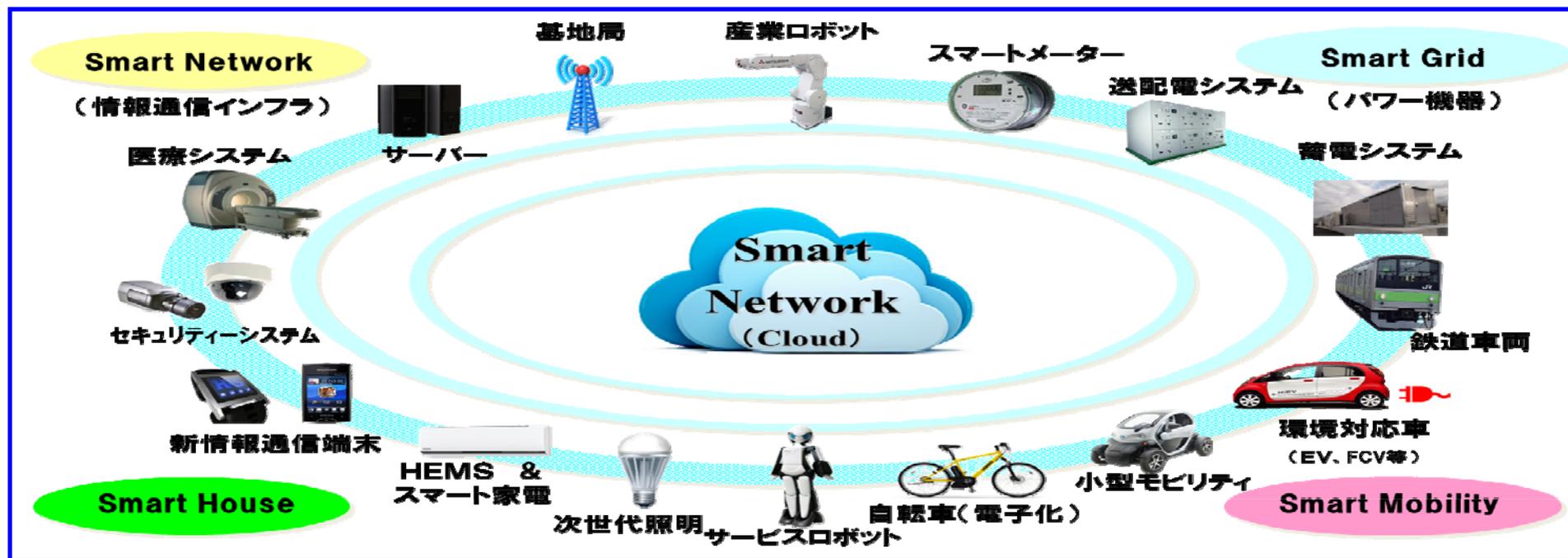


--- → 色々な分野で新たなコネクタ・ニーズが生まれる

■ 基本的な方向性



---→[コンシューマ]&[自動車、産機インフラ]の両輪で継続成長！



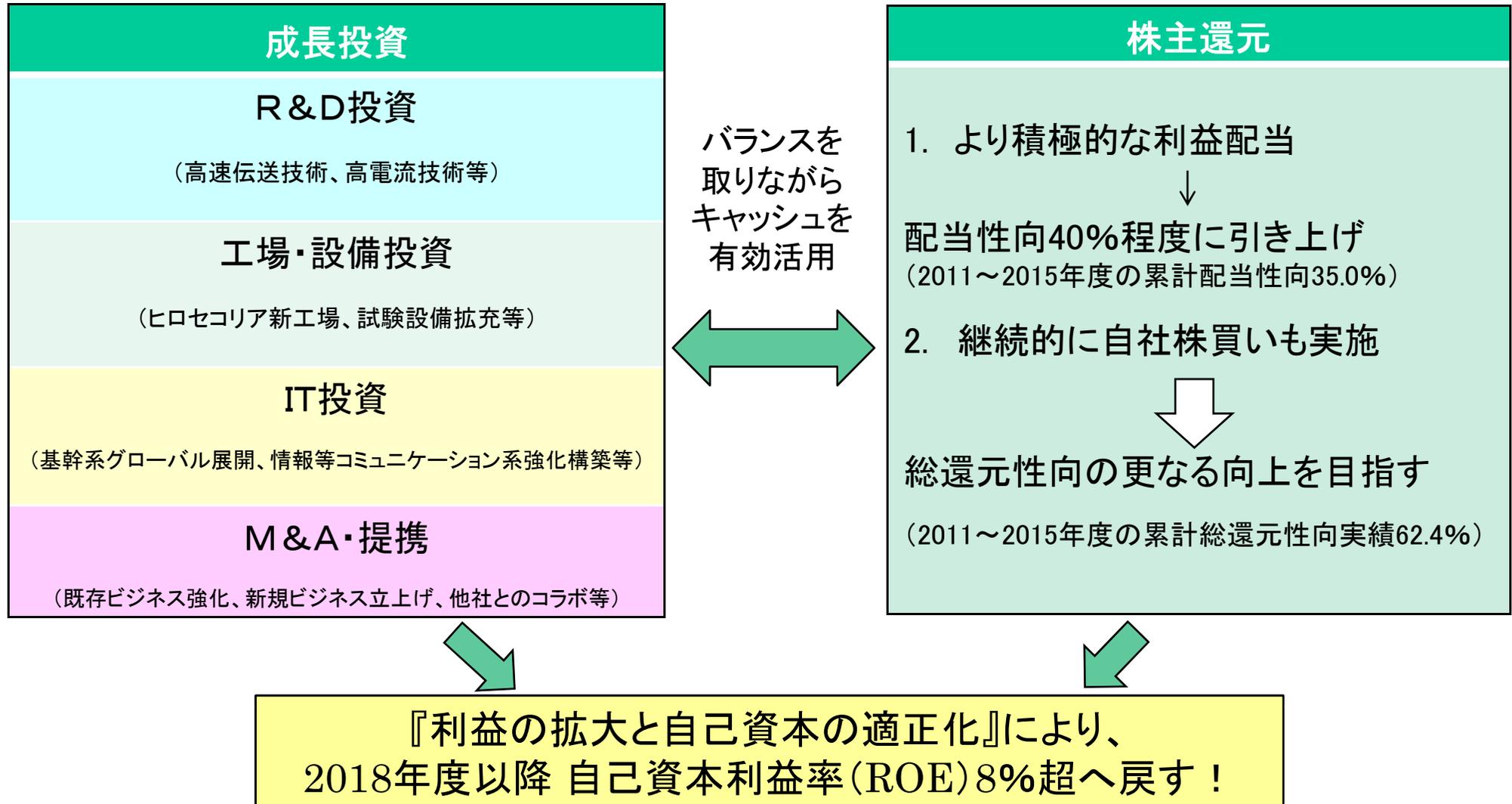
[キートrend]: 「IoT(全てが繋がる世界)」「クラウドロニクス」「ECO(省電力)」

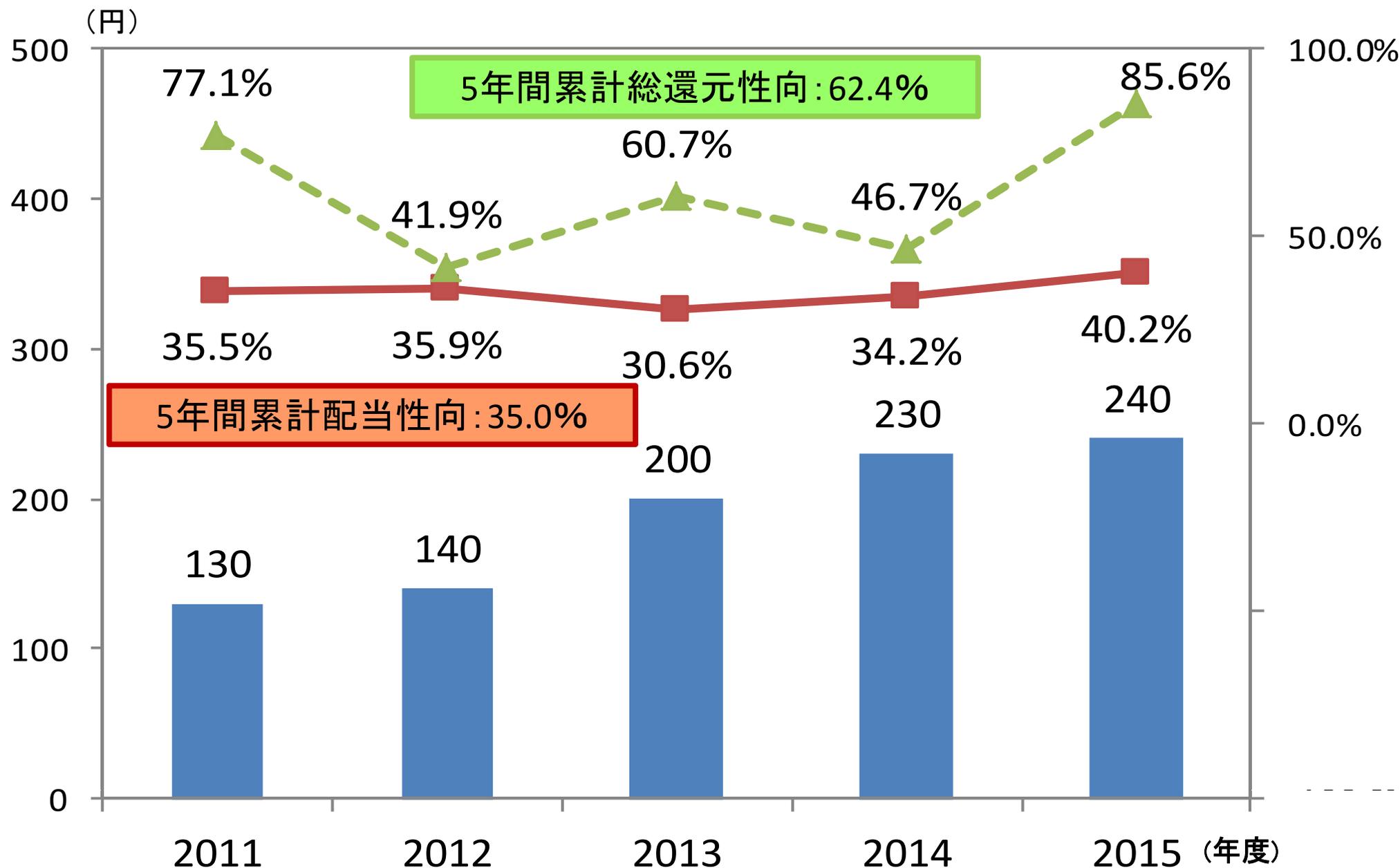
[キーテクノロジー]: 「高速」、「高周波」、「ハイパワー」、「小型化」への取組み強化

戦略投資

技術開発	工場・設備	ITインフラ
◆高速、高周波伝送技術	◆国内外工場の増強	◆各種基幹システムの強化
◆高電流、耐環境技術	◆超精密加工設備	◆コミュニケーションシステムの充実
◆金型加工技術、めっき技術	◆自動車/産機向け試験・評価設備	◆意思決定支援システムの整備

キャッシュ活用は、今後の中期的な成長戦略に基づく投資を優先させた上で、株主還元の更なる充実を目指していきます





<<< 新年度:2016(H28)年 >>>

『G-WING』の達成へ！

～「ヒロセの来たる雄飛と躍動」
への起点となる1年とする ～